

【議題2】 若井沈下橋の四万十川沈下橋保存方針への編入について

(1) 概要

位置図



右岸側上流部より(平成22年9月)



- ◇所在地 : 四万十町若井
- ◇管理者 : 四万十町
- ◇架橋年度: 昭和40年
- ◇橋長 : 85.0m
- ◇幅員 : 2.5m
- ◇橋脚 : 11.0本 / 鉄筋コンクリート構造
- ◇床版 : 厚さ 30.0cm / 天端高 10.0cm

※平成23年3月時点で、廃道となり町の道路台帳からも外れていることから、『四万十川沈下橋保存方針』の対象外となっている。

(2) 経緯

- ◇平成23年7月7日: 若井地区長名で沈下橋保存方針への位置付け及び老朽箇所の修繕について要望あり。
- ↓
- ◇平成24年度: 道路区域への再編(四万十町役場)。
- ↓
- ◇平成26年8月1日~8月10日: 台風12・11号豪雨により被災。
- ↓
- ◇災害復旧事業採択(平成26年災: 国土交通省)。
- ↓
- ◇平成27年9月29日: 河川協議済(河川管理者: 高知県土木部)。
- ↓
- ◇平成27年10月1日~災害復旧工事着手(平成28年2月29日迄予定)。

(3) 災害復旧工事概要

復旧延長L=24.2m
RC橋(床版橋)L=24.2m、橋脚N=3基、仮設道L=57.0m

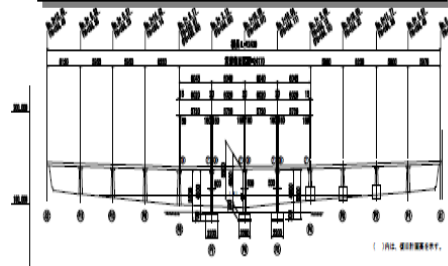
被災状況写真



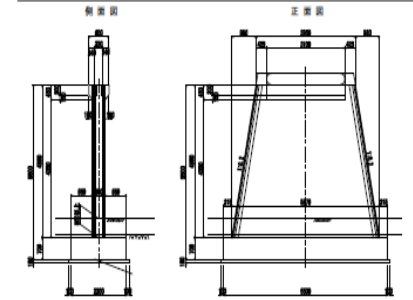
被災状況写真



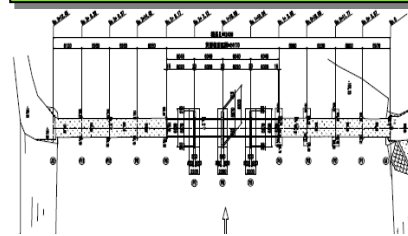
一般図



断面図



平面図



(4) 若井沈下橋の四万十川沈下橋保存方針への編入について(案)

※四万十川本川に位置する、国道381号からの眺望、地元要望等を考慮し、第1種沈下橋に区分。
【参考】重要構成要素については、四万十町において検討中。